



1 愛知池

碑文(表)

愛知池
昭和36年12月
愛知用水公団理事長 成田 努 書



碑文(裏)

此の池は愛知用水幹線水路の畧中央に位し兼山堰堤取水口から取入れた木曾川の水を貯留し耕地のかんがい、上水道、工業用水の効率的な調整を図るために築造されたものである。

愛知池

満水面積 970,000 平方米
満水位標高 69米30 糎
貯水量 9,000,000 立方米

東郷堰堤

型式 傾斜コア式アースダム
堤頂標高 72米
堤頂長 975米
堤頂幅 6米
堤体積 1,040,000 立方米
工事費 1,400,000 千円
着工 昭和34年12月
完成 昭和36年12月
施工者 鹿島建設株式会社



愛知池の風物詩
中日本レガッタ(毎年4月開催)

2 愛知用水竣工碑

碑文(表)

愛知用水
竣工碑
昭和37年春
農林大臣 河野一郎



通水記念切手



昭和 36 年

碑文裏の銅板碑文（上段）

岐阜県可児郡から名古屋市の東方を経て知多半島に及ぶ愛知用水地域は、長年の間農業用水など水の不足に苦しんできた。
しかし愛知用水事業の完成によって、この地域に住む数十万の人々の水への渴望は満たされた。
愛知用水公団は国をはじめ愛知・岐阜・長野三県および関係市町村等の緊密な協力を得て、日本における最初にして最大のこの総合開発事業を所期のとおり遂行した。牧尾ダムに源を発する愛知用水の豊かな流れは、今後各種産業の開発発展を力強く推進してゆくだろう。

（下段）

総事業費	423億円	□ 主要工事概要	□ 工期	昭和31年～36年
牧尾ダム	位置 長野県西筑摩郡王滝・三岳村	東郷ダム	位置	愛知県愛知郡東郷村
(御嶽湖)	ダム型式 ロックフィルダム	(愛知池)	ダム型式	アースダム
堤高	81米	堤高	31米	
堤長	264米	堤頂長	975米	
堤体積	262万立方米	堤体積	104万立方米	
貯水量	7500万立方米	貯水量	900万立方米	
愛知用水取入口	位置 岐阜県加茂郡八百津町	補助ため池	三好池・松野池	
ゲート型式	テンターゲート 3門	上水道工業用水	浄水施設4ヶ所	
最大取水量	毎秒30立方米	配水管延長	622軒	
幹線水路延長	112軒			
支線水路延長	1008軒	王滝川発電所	位置	長野県西筑摩郡三岳村
		最大出力	3万4千キロワット	

3 感謝之碑

建立者 愛知用水土地改良区 愛知用水受益団体
所有者 愛知用水土地改良区

解説：この碑は、愛知用水公団が水資源開発公団と統合されたのを記念し、「感謝の碑」として、愛知用水土地改良区と愛知用水受益者団体の関係市町村の寄付により建立された。



碑文(表)

感謝之碑
世紀の愛知用水工事を完成した愛知用水公団
に対し、地元受益者の深甚な感謝の意をあら
はずため、ここに植樹を行う。昭和43年10月1日

碑文(裏)



受益団体

犬山市 小牧市 春日井市 名古屋市 旭町 瀬戸市
長久手村 日進町 東郷村 豊明町 三好町 豊田市
刈谷市 大府町 東浦町 上野町 横須賀町 阿久比町
半田市 知多町 常滑市 武豊町 美浜町 南知多町
愛知用水土地改良区

(平成19年3月現在の受益市町は、この他に愛知県大口町、扶桑町。岐阜県可児市、多治見市、土岐市、中津川市、瑞浪市、御嵩町、恵那市が参入、また、旭町は尾張旭市、長久手村・東郷村は町に。上野町と横須賀町は合併して東海市、知多町・日進町・大府町・豊明町は市になっている。)

4 愛知用水30周年記念 水源の石

場所 愛知池堤体西駐車場北

愛知用水通水30周年記念事業として、東郷調整池駐車場横(竣功碑、愛知池手前)に愛知用水の水源地牧尾ダムの石を真中に、右に味噌川ダムの石、左に阿木川ダムの石を配置し、その周囲には記念の植樹を行っている。



2007 愛知用水カレンダー 1月採用写真

5 東郷調整池の観音像

東郷町大字諸輪字東百々地内(副堤高台)

形 体:コンクリート製立像

作 者:豊田市宮口町在住の彫刻家(詳細不明)

施工者:鹿島建設(株)

所有者:水資源機構

管理者:恵日山清峯院観音寺住職
(東郷町大字諸輪字観音畑八)



建設経緯

東郷調整池の建設で、通称「掃部山」(かもんやま) 恵日山清峯院観音寺の観音様奥の院の聖地(現在の調整池東部半島の下の池の中字片平山地内)を東郷調整池の事業用地として公団(現独立行政法人水資源機構)が買収交渉をする時、地権者の方々は掃部山の隣地(現在の小島)に移転を希望されたが池の中に私有地を残すことは将来小島を取り除き湛水面積を拡大する場合に、支障が生ずるため断念していただいた。その結果、地元とも相談し観音様奥の院の東隣地の山に観音像を建設することになった。

建設は、K建設がコンクリート製立像で制作した。

当時、この観音様移転に協力戴いた「恵日山清峯院観音寺」の住職によれば、現調整池観音像の建立で当時、公団と取り交わした条件は、次のとおりであった。

- 1) 建立は、公団で行う。
- 2) 観音像の管理は、「恵日山清峯院観音寺」住職が行う。
- 3) お供えものはしないこと。
(腐敗物が水質を汚染するため)
- 4) 線香、ローソクはあげないこと。(火事の原因となる。)

また、堀部住職は、最近では像本体にひびがはいり、老朽化してきたので、寄付を募り修理したい意向である。この時は銘板を取付け由来等を記入したいとしている。

- 5) 祭祀は年2回(8月、10月)であるが、最近では10月のみ行っている。



6 百年森公園

碑文(表) 百年森公園



碑文(裏) 百年の森公園は、この愛知池を出発点として、尾張と三河の行政区の違う境界上に带状に残されている自然環境と、その所々に点在する公共性の高い施設を拠点(住民の憩いの場)とし、・・・(略)・・・

愛知用水の源流、長野県にある牧尾ダムより運びし石に「百年森公園」の名を刻み、この地に暮らす人々の手で創る夢の公園の出発点とする。

7 愛知用水二期

碑文（表）

愛知用水二期事業竣工之碑
愛知県知事 神田 真秋

場所 東郷町大字諸輪字片平山地内
建立 平成 16 年 10 月 22 日



碑文（裏）



この碑は、“水源地を想うところ”をこめて
牧尾ダム「御岳湖」の石が使われております。

牧尾ダムに源を発する愛知用水の豊かな流れは、農業・水道・工業用水を供給しつづけ、愛知用水地域の生活や産業を支える水の大動脈として、中部経済圏の飛躍的な発展に多大な貢献をしてきました。

昭和 36 年の通水開始以降、産業の発展に伴う水需要の更なる増大、通年通水の確保、施設の老朽化、水路沿線の都市化などに対応するため、新設した阿木川ダム・味噌川ダムによって水源を増強するとともに、昭和 56 年度から幹線水路の通水能力増強・複線化、支線水路のパイプライン化、調整池の増設、水路管理施設の近代化などを図る愛知用水二期事業を実施してきました。

また、牧尾ダムは、昭和 59 年 9 月の長野県西部地震による御嶽山山腹大崩壊により大量の土砂が流入堆積し、貯水機能が低下したため、貯水機能の回復と周辺の災害防止を図る牧尾ダム堆砂対策が平成 7 年度から愛知用水二期事業に追加されました。

二期事業によって生まれ変わった愛知用水は、21 世紀においても、地域社会に対してその重要な役割を果たし、地域と調和した「水とともに文化を育む愛知用水」でありつづけることを祈っています。

平成 16 年 10 月 22 日 独立行政法人 水資源機構

8 愛知用水二期事業竣工 記念植樹

碑文表 愛知用水二期事業完成記念植樹
裏 平成 16 年 10 月吉日 事業従事者有志一同



9 愛知用水記念碑(東郷第二開水路横)

場所

東郷町大字春木字古池地内
(東郷第二開水路左岸)

施工者 東郷村愛知用水建設総代会
管理者 東郷町春木区長

碑文 愛知用水記念碑

愛知用水公団副理事長
伊藤 佐 書



裏面 (省略)

高さ123cm 幅48cm 厚さ10.5cm(台座除く)



建設中の小水力発電施設

愛知池と諸輪第一開水路の遊休落差を利用して年間約 7,000MW の発電を行う愛知池管理用小水力発電所。その発生電力を総合管理所に送り、購買電力の削減を図り、管理費のユーザ一負担の軽減に資することを目的としています。